

# 会 議 録

|        |  |
|--------|--|
| 会議の名称  | 第4回茨木市地球温暖化対策推進委員会   |
| 開催日時   | 平成23年12月27日(火)<br>午後3時 開会 ・ 午後5時20分 閉会   |
| 開催場所   | 茨木市役所 南館3階防災会議室  |
| 委員長    | 玉井 昌宏  |
| 出席者    | 磯崎 強志、大石 ひとみ、加藤 浩幸、黒川 裕之、鈴木 眞由美、<br>玉井 雅人、玉井 昌宏、西島 貞夫、藤田 紫、村瀬 径介、<br>山口 容平 (11人)               |
| 欠席者    | 今堀 洋子 (1人)   |
| 傍聴人    | 7人   |
| 事務局    | 田中産業環境部長、島本環境政策課長、<br>松本環境政策課長代理兼政策係長、井澤職員、<br>畑中第2計画部長、中川研究員、山崎研究員(株)地域計画建築研究<br>所大阪事務所) (7人) |
| 議題(案件) | 1 議題<br>(1) 茨木市地球温暖化対策実行計画素案について<br>2 その他<br>(1) 第5回推進委員会の開催日時について                             |
| 配布資料   | 1 茨木市地球温暖化対策実行計画素案<br>参考資料編<br>座席表   |

| 議 事 の 経 過 |   |
|-----------|---|
| 発 言 者     | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項   |
|           | 開会  |
|           | ・委員の変更について  |
| 事務局       | 11月30日付で、京極委員から人事異動に伴い委員辞職の申出があり、委員を解嘱させていただいた。その後任として、パナソニックプラズマディスプレイ株式会社から、玉井雅人委員を委嘱させていただいた。  |
| 玉井雅人委員    | 途中からの参加であるが、策定に向けて誠心誠意臨みたいと考えているので、よろしく願いしたい。   |
|           | ・当面のスケジュールについて  |
| 事務局       | これまでの経緯として、11月29日の第3回委員会の後、これまでの意見を踏まえ、市で調整会議を行った。その結果を、本日の議題として、目標設定と施策及び取組等について提案させていただく。施策及び取組については現在関係課と調整中である。本日の委員会及び関係課からの意見をもとに、1月上旬に調整会議を行い、案をまとめていきたいと考えている。その後、1月24日から2月13日にパブリックコメントを予定している。パブリックコメントを受け、2月末に最終案として委員会に提出したいと考えている。 |
|           | 1 議題  |
|           | (1) 茨木市地球温暖化対策実行計画素案について  |
|           | 事務局より説明   |
|           | ・目標設定について(第1章～第3章1節について説明)  |
| 委員長       | 前回とは、P.38とP.39の辺りが大きく異なっている。前回までは、推計に幅を持たせ、対策にも幅を持たせればよいという案も出ていたかと思うが、今回は、対策はひとつのパターンに限っている。   |

| 議 事 の 経 過 |   |
|-----------|---|
| 発 言 者     | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項   |
| K 委 員     | P.31について、「地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の対象となる企業がグラフに入っていないのは、意図的か。   |
| H 委 員     | 分母となる単位量を定めていないので、上のグラフに入っていないということだと思う。しかし、表に8つ項目があり、グラフでは7つなので、一見わかりにくい。ただし書きがあったほうがよいと思う。  |
| K 委 員     | 現況推計で言いたいことは、産業部門や民生業務部門の減少が大きく、民生家庭部門は減少していないということだと思う。今後、茨木市で産業部門の排出量がどう推移するのか。   |
| 事 務 局     | 事業者数は、経済状況によって減少している面もある。今後、彩都地区の整備に伴い、企業が増加することも考えられるが、今のところ極端に増加するということは考えられない。   |
| E 委 員     | 条件設定の表中の「東日本大震災以前の条件設定」「東日本大震災後の社会変化を考慮」という文言は、今は使わないほうがよい。<br>また、参考資料の扱いはどうなるのか。これまで行ってきた計算結果を、できれば参考資料に入れていただきたい。色々なことを検討した結果は、公にしたほうがよいと思うし、色々なことを検討した結果の条件設定だということを、本編にも書いておくほうがよい。 |
| 事 務 局     | 参考資料は、計画の内容についてもっと詳しく知りたい人に参照してもらうものとなる。しかし今回お配りした参考資料の内容を全て掲載するのではなく、今後検討したい。使用している排出係数等の諸条件は、論文等から引用したものであるが、掲載するかどうかは検討が必要だと考えている。   |
| K 委 員     | P.35で彩都だけ取り上げているが、彩都は茨木市の値にも含まれつつ、単独でも取り上げられているということか。  |

| 議 事 の 経 過 |   |
|-----------|---|
| 発 言 者     | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項   |
| 事 務 局     | そうである。本市の中でも環境に配慮した新しい住宅が多く、民生家庭部門での排出量が少ない地域として取り上げている。  |
| A 委 員     | 民生家庭部門は確かに他より少なくなっているのので、家庭部門のみ載せるのは意味があると思う。   |
| 事 務 局     | なぜ載せるかという説明をコラム的に記載することも含めて、検討したい。  |
| H 委 員     | P. 38の参考欄の計算方法をどうしているのか、今日でなくてもよいので、また教えてほしい。<br>P. 41について、大企業が総量での目標設定でよいのか再度検討が必要ではないかと思う。エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)では、単位あたりのエネルギー消費量を1%ずつ減らしていこうということになっており、それだとある程度無理なく減らしていけるのではないかと思う。エネルギーと二酸化炭素は異なるが、例えばそのような目標設定の方法もあると思う。あまり締め付けすぎて、市内から撤退されても困る。 |
| K 委 員     | 総量規制は企業としては対応が難しい。製造品出荷額あたりにする方がよい。総量で規制されると、業績が向上する際に、製造量を増やすことができない。製造量が増加しても、効率を上げることで、原単位あたりの二酸化炭素排出量の削減は可能である。   |
| 事 務 局     | 大企業とその他を分けるが、それぞれを製造品出荷額あたりの排出量で目標設定するという事も考えられる。   |
| E 委 員     | 大企業については、市のマネジメントの対象外とするということで、表に入れなくてもよいのではないかと思う。   |
|           | 事務局より説明<br>・施策及び取組について、進行管理について(第3章2節~第4章について説明)  |

| 議 事 の 経 過 |  |
|-----------|--|
| 発 言 者     | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項  |
| E 委 員     | 『プロセス目標』というのには良いと思うが、挙げられているものが、本当に劇的な削減に結びつくものなのかどうか、検討が必要だと思う。市民の方の実感として、妥当なのかどうか分からない。例えば、「地域の工務店」だけを限定して取り組むのは難しいのではないか。   |
| 事 務 局     | 一定規模を供給している大手のハウスメーカー等は、法律に基づき然るべき水準のものを供給している傾向があり、供給量としては1～2割程度存在していると推測される。しかし、残りは法律上の縛りのない地域の工務店により供給されており、それらに対する働きかけが必要だと考えている。                                      |
| E 委 員     | <p>そういうことであればよいが、この『プロセス目標』を地域の工務店の方が見たときに、不公平感を感じないような記述にする必要がある。</p> <p>また、まちの姿3「人にも環境にもやさしく移動ができるまち」において、例えば「二酸化炭素排出量削減を考慮した道路交通計画の策定」なども、ひとつの『プロセス目標』になるのではないかと思う。</p> |
| B 委 員     | P.49にエコライフDAYというのがあるが、どれぐらいの日数を想定しているのか。1日だけ取り組んで70%の二酸化炭素排出量を削減したのでは、あまり意味がないと思う。「エコライフ期間」のようにし、一定の期間で削減した人を評価するほうがよいのではないか。  |
| 事 務 局     | 「期間」や「WEEK」のような言葉に変更したい。   |
| G 委 員     | 環境家計簿の取組が抜けているが、なぜか。個人が、自分が出している二酸化炭素を見える化するための取組として、環境家計簿が最も効果的だと思う。  |

| 議 事 の 経 過 |  |
|-----------|--|
| 発 言 者     | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項  |
| 事務局       | 低炭素ライフスタイルの普及として、現在も取り組んでおり、今後も継続して取り組んでいきたい。  |
| H 委員      | G委員の発言のように、二酸化炭素を個人が各家庭でどれだけ出しているかを見える化し、いかにそれを減らしていくかが根本的なことだと思う。その取組が入っていないのはなぜか。<br>また、取組の最初の部分に、取組で削減しようとする温室効果ガスは6種類のうちどれかを示してほしい。さらに、取り組むのは省エネルギーなのか、省CO <sub>2</sub> なのかをはっきりさせてほしい。私たちが取り組むべきは、二酸化炭素排出量の削減であり、省CO <sub>2</sub> だと思う。 |
| J 委員      | 省CO <sub>2</sub> でも省エネルギーでも、どちらでもよいのではないか。また、現在の社会の状況として、エネルギー使用のあり方への反省に関心があるので、あまり二酸化炭素排出量に傾注させすぎるのもよくないのではないか。  |
| H 委員      | ふさわしいとかふさわしくないという問題ではなく、地球温暖化対策実行計画はCO <sub>2</sub> を削減することが目的である。   |
| J 委員      | 『プロセス目標』について、1つの家庭や事業所だけでも達成できればよいというような表現になっているのは残念である。例えば、環境教育に関して、学校単位で取り組まれている数を示すのもよいかと思う。また、エコショップについて、環境に配慮している条件として、地産地消の商品を扱っていることを位置付けるのもよいのではないか。   |
| F 委員      | 取組の内容がわかりにくいのではないか。市、市民及び事業者がそれぞれできる取組として示されていれば、よりわかりやすい。現状では、誰が取り組むのかがよくわからない。それぞれの取組に関して、各主体の役割や分担を、わかりやすいように示してほしい。  |

| 議 事 の 経 過 |  |
|-----------|--|
| 発 言 者     | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項  |
| A 委 員     | 『プロセス目標』という言葉自体が、馴染みがないのではないか。中間値からゴールまでの道筋を書く必要があるが、『プロセス目標』を置くという宣言だけをしておき、来年度以降に委員会やワークショップ等で検討していてもよいかもしれない。今は曖昧にしてもよいか。 |
| 事 務 局     | 進行管理として、評価指標も必要に応じて追加していくことを考えており、『プロセス目標』についても、今は誰もがわかりやすいものをざっくりと書いておき、今後、プラットフォームなどで検討していくという方法も考えられる。                    |
| A 委 員     | 今は、ゴールまでの中間値だけ取り出して、それを『プロセス目標』として書いてある形となっているので、まずは中間値からゴールまでのストーリーを示す必要がある。次に、設定した『プロセス目標』が妥当であるかどうかは議論していく必要がある。          |
| E 委 員     | 短期的な取組が『プロセス目標』に繋がることわかるような形で示す必要がある。  |
| B 委 員     | 取組と『プロセス目標』の間に、具体的に誰が、いつ頃、何をするかを決めなければならない。例えば、「教育の推進」というのは漠然としている。  |
| C 委 員     | 表記の方法として、流れがわかるように書いてほしい。  |
| 事 務 局     | 取組とその道筋となる『プロセス目標』については、市民に最も見ていただかなくてはならない所なので、もっとわかりやすい表現になるよう改める。   |
| B 委 員     | 里地・里山での活動で、資格を持たれている方もいる。そういう方に呼びかけを行うのもよいのではないか。  |

| 議 事 の 経 過 |   |
|-----------|---|
| 発 言 者     | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項   |
| J 委 員     | この計画において、大学等の教育施設はどのように位置づけられるか。  |
| 事 務 局     | 大学等は一事業者として取り組んでいただく。学生は、市民として取り組んでいただく。  |
| I 委 員     | 「新エネルギー導入スタイルの発信」とあるが、インターネット等のようなツールで発信を行うのかを書いてほしい。   |
| 事 務 局     | 環境にやさしいライフスタイルが普及していく過程を、環境フェア等で発信していきたい。   |
| H 委 員     | 「機器の更新」については効果が大きく、取り組む価値がある。重点的な取組に含めてもよいのではないか。   |
| E 委 員     | 取組効果の大きいものを重点的に取り組むほうがよいのではないか。モーダルシフトの推進についても、重点的な取組に挙げている3つの取組のそれぞれで、どれくらいの効果があるのかわからない。一方、公共交通利用促進は重点的な取組となっていない。重点的な取組は、取り組みやすいものから順に取り組むというのではなく、効果が大きいものから取り組むのがよいのではないか。   |
| K 委 員     | 取組効果の示し方も、より市民にわかりやすい方法のほうがよいのではないか。2020年に向けて、1年間に1人あたり0.54kgの二酸化炭素排出量を減らせばよいということであるので、そのためにこういった取組があるかを示すとよいのではないか。市民の方に取り組んでいただかなければならない。例えば2050年に70%削減しなければならないことを知った方は、取組が億劫になってしまいかねない。10項目程度の「最低限実行すること」のうちいくつかを実行してもらおうような形とするのもよいのではないか。 |
| J 委 員     | 一般には、環境問題に敏感な人と、無関心な人で差が大きい。この計画を読んだ人が、自分のためや周りの人のために、動き出そう   |



| 議 事 の 経 過 |  |
|-----------|--|
| 発 言 者     | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項  |
|           | <p>-----<br/>           と思えるかどうか重要であると思う。我慢を強いるようなものではなく、楽しく取り組めるようなもので、次に繋がるようなものとしてほしい。<br/>           -----</p>                   |
| E 委 員     | <p>-----<br/>           「エコビレッジを作り」とあるが、具体的に何か進んでいるのか。<br/>           -----</p>  |
| 事 務 局     | <p>-----<br/>           この取組については、委員の方からいただいた意見を基に掲載しているが、内容については、まだ整理を行う必要がある。<br/>           -----</p>                             |
| K 委 員     | <p>-----<br/>           今後の具体的な取組の部分は、あくまで「取組事例」に留めておくほうがよいものもある。一例や案として考えている、という程度に留めていくほうがよい。<br/>           -----</p>             |
| 事 務 局     | <p>-----<br/>           『プロセス目標』の中で、「70%削減」という言葉だけが一人歩きしてしまう危険性があるので、取組と関連したような形で示せばと思う。<br/>           -----</p>                    |
|           | <p>-----<br/>           事務局より説明<br/>           ・ 進行管理について（第5章について説明）<br/>           -----</p>  |
| I 委 員     | <p>-----<br/>           プラットホームイメージの中の「関係機関」や「関係団体」とは何か。<br/>           -----</p>  |
| 事 務 局     | <p>-----<br/>           関係機関は商工会議所等、関係団体は市民NPO等を想定している。<br/>           -----</p>   |
| I 委 員     | <p>-----<br/>           例えば「年次報告書」は「いばらきの環境」のように、具体名を書いたほうがよいのではないか。<br/>           -----</p>  |
| H 委 員     | <p>-----<br/>           評価指標について、「省エネナビ」で見える化できるのは電気だけである。現在示されているのはあくまで一例だと思うが、電気ばかりを減らせばよいと思われないようにしてほしい。<br/>           -----</p> |

議 事 の 経 過

| 発 言 者 | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項  |
|-------|--|
| H 委 員 | <p>-----</p> <p>P D C Aで進行管理を行うにあたり、どんな取組がどの程度の効果に繋がるのかがわかるような情報発信をしていただき、市民の方が自分でも「やってみたい」と思っていたくれるようにしてほしい。</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 5 回地球温暖化対策推進委員会は、平成24年 2 月28日(火) 午後 3 時より市庁舎南館 3 階防災会議室で開催</li> </ul> <p>-----</p> <p>閉会</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> |